

アフリカ開発会議 横浜で開催！

アフリカ 52 カ国の首脳が横浜に集まります

今月5月28日から30日の3日間、横浜市のパシフィコ横浜にて第4回アフリカ開発会議(TICAD)が開催されます。アフリカ開発会議は、日本が国連、アフリカのためのグローバル連合(GCA)および世界銀行と共同で開催するアフリカの開発をテーマとする国際会議です。1993年から5年に1度開催され、これまでの3回はすべて東京で開催されてきました。今回始めて東京以外の都市で開催されます。

今回のTICADにはソマリアを除くアフリカ52カ国が参加、そのうち39カ国は首脳級が来日する予定になっています。前回2004年に東京で開かれた第3回アフリカ開発会議(TICAD)では、24カ国の首脳が来日しました。アフリカ諸国以外にも欧米やアジアからも多数の諸国が参加し、参加人数が延べ1000人を超えるととても大きな国際会議になることが見込まれています。

今回の会議では、まずTICADプロセスの15年をテーマに全体会合が開かれ、その後、インフラ、貿易・投資、農業などの「成長の加速化」、保健や教育などの「人間の安全保障の確立」、そして現在世界的な問題になっている「環境・気候変動問題への対処」などを主なテーマに会議が

(裏に続きます)

行われ、最終日に「横浜宣言」が採択される予定になっています。

アフリカは貧困や飢餓、HIV や結核などの感染症の拡大、そして今現在も続く部族間紛争といった様々な問題を多くの国々が抱えている一方で、高い経済成長を続け、石油や鉱物資源などの供給地として注目されている地域でもあります。

自民党の日本アフリカ連合（AU）友好議員連盟の副会長を務めるおこのぎ八郎さんは、2006年の夏に日本の国会議員団として初めてリベリアとシオラレオネの両国を訪問しました。おこのぎ八郎さんが訪れた当時のリベリアやシオラレオネは、内戦からの復興や爆発的に拡大するHIVの感染防止など深刻な問題と闘っている最中でした。そしてそれは現在も続いています。今回のTICADにはリベリアからジョーンソン・サーリーフ大統領が来日する予定になっています。おこのぎ八郎さんは、2006年に訪問した時にサーリーフ大統領と会見しており、今回の来日時にも再び会見する予定になっています。

アフリカ諸国の発展のために

今回の会議で話し合われる様々なテーマは、アフリカ諸国だけではなく、世界全体にとって重要で深刻な問題が多く取り上げられています。今回の会議を通して、アフリカ諸国がそれぞれ抱える問題の解決に向けて少しでも前進し、アフリカ地域全体の発展につながるように会議が成功に終わり、十分な成果を上げることができるよう期待されます。

おこのぎ八郎さんを支援する会

横浜市神奈川区反町1-7-1

TEL:045(323)6000 FAX:045(323)2974

E-mail: g00833@shugiin.go.jp

<http://www.hachirou.com>